



主体変容

振り返り→改善・変容

新年明けましておめでとうございます。

冬休み中、事故等の心配な連絡はなく、平常通りに3学期を迎えることができました。

8日(水)は寒い中でしたが、生徒の皆さんが元気に登校、保護者・地域の皆様の明るい挨拶運動の中に、活気ある北部中がスタートできて、とてもうれしく思います。

さて、3学期は、時間が経つのがとても早い学期と言われます。1月は「行く」2月は「逃げる」3月は「去る」のように例えられます。

また、3学期は、R7年度の0学期とも言われ、新年度の準備期間とも例えられます。

3学期の始業式の校長挨拶では、「主体変容」について話しました。この言葉について、パナソニックの創業者 松下幸之助さんは、「人間は経験や気づきを通じて自分自身を変え、成長することができる。」「改善・変容のヒントは、日ごろの生活の中にたくさんある。」と話されています。

現在の予測不可能な社会の中では、自分の状況を振り返り、自ら主体的に変容・改善を繰り返しながら、スキルアップを図ることが求められています。全校生徒の皆さんには、新年に立てた目標を達成するため、自分の行動を振り返り、主体的に改善・変容に取り組んでほしいと思います。3学期もよろしくお願いいたします。



3学期 始業式(今年の決意)

始業式の生徒発表者の内容を紹介します。

【 都道府県選抜バレーボール大会 3位 】

中川 龍也さん(3-2)は、熊本県代表チームのキャプテンとして頑張り、見事 3位の結果報告がありました。「高校では、日本一を目指す!」と力強い挨拶がありました。

【 学習と部活動の両立 】

稗田 芽依さん(1-5)は、学習と部活動の両立、学級委員会の副委員長として、学校全体でWell-beingの実現を目指す話がありました。

【 受験生を意識した3学期の取組 】

中田 玲奈さん(2-5)は、受験生を意識した学習、部活動の練習を頑張り、自分自身に自信をもって3年生になりたいとの話がありました。

【 受験前だからこそ「当たり前を当たり前」 】

平川 大喜さん(3-5)は、当たり前のことを当たり前に行えるようになれば、頑張りたいことが見えてきて、目標が達成できると話してくれました。

【 最上級生としての自覚・責任・伝統・覚悟 】

生徒会書記の宮村 花音さん(2-4)は、受験生になる自覚、生徒会執行部として新入生を迎え入れる責任、美術部として体育大会の大看板作成の伝統 等、最上級生として、頑張る覚悟を話してくれました。

とても素晴らしい発表をありがとうございました。